

企画演題

第1日目 7月23日(土)

会長講演 13:50~14:50 A会場(長良川国際会議場 1階・メインホール)

PA 医薬品適正使用推進の臨床評価

座長: 室井 延之(赤穂市民病院薬剤部)

演者: 伊藤 善規(岐阜大学医学部附属病院薬剤部)

教育講演1 9:20~10:20 A会場(長良川国際会議場 1階・メインホール)

EL1 生体側の視点から薬剤過敏症に迫る

座長: 丸山 徹(熊本大学薬学部薬剤学分野)

演者: 宇野 勝次(共栄堂・千葉科学大学薬学部)

教育講演2 9:20~10:20 B会場(長良川国際会議場 4階・大会議室A+B)

EL2 よくわかる咳嗽治療と注意すべき副作用

座長: 坂爪 重明(新潟薬科大学薬学部)

演者: 藤森 勝也(新潟県立柿崎病院内科)

教育講演3 16:00~17:00 E会場(岐阜都ホテル 2階・漣の間B)

EL3 有害事象を回避する! 発見する! 報告する! ~腎排泄型薬剤を中心に~

座長: 丹羽 隆(岐阜大学医学部附属病院薬剤部)

演者: 田中 亮裕(愛媛大学医学部附属病院薬剤部)

スポンサー教育講演1 16:00~17:00 B会場(長良川国際会議場 4階・大会議室A+B)

SE1 救急症例から見た医薬品適正使用と薬剤師の役割

座長: 遠藤 秀治(前岐阜県総合医療センター)

演者: 畝井 浩子(広島大学病院薬剤部)

共催: 東和薬品株式会社

シンポジウム1 10:25~12:25 A会場(長良川国際会議場 1階・メインホール)

薬物治療における医薬品安全使用の実際と新たな取り組み

オーガナイザー兼座長: 佐藤 光利(明治薬科大学医薬品安全性学研究室)
田村 浩司(田辺三菱製薬株式会社渉外部)

- S1-1 小児科領域における薬剤性有害作用の検査と診断
大石 智洋(川崎医科大学小児科)
- S1-2 ゲノム解析に基づく薬物応答性関連遺伝子の同定と薬物治療の個別適正化
蒔田 泰誠(理化学研究所統合生命医科学研究センター)
- S1-3 抗体医薬品の安全使用に関する現状と課題
田村 浩司(田辺三菱製薬株式会社渉外部)
- S1-4 基礎データからの有害発生予測と医薬品副作用データベースに基づく有害事象解析
植沢 芳広(明治薬科大学臨床薬剤学研究室)

シンポジウム2 10:25~12:25 B会場(長良川国際会議場 4階・大会議室A+B)

医薬品適正使用推進によるアウトカム評価を考える

オーガナイザー兼座長: 片山 志郎(日本医科大学付属病院薬剤部)
鈴木 昭夫(岐阜大学医学部附属病院薬剤部)

- S2-1 病棟薬剤業務実施加算による薬学的介入の評価
林 太祐(日本医科大学付属病院薬剤部)
- S2-2 血液内科病棟業務におけるアウトカム評価への取り組み
安 武夫(東京大学医科学研究所附属病院薬剤部)
- S2-3 抗菌薬適正使用推進のアウトカム
丹羽 隆(岐阜大学医学部附属病院薬剤部/生体支援センターICT)
- S2-4 チーム医療で術後せん妄発症を予防する~薬剤師介入によるアウトカム評価~
北村 佳久(岡山大学病院薬剤部)

シンポジウム3 13:50~15:50 B会場(長良川国際会議場 4階・大会議室A+B)

在宅チーム医療における薬物療法の安全性確保

オーガナイザー兼座長: 山脇 正永(京都府立医科大学総合医療・医学教育学)
杉山 正(岐阜薬科大学実践薬学大講座実践社会薬学研究室)

- S3-1 在宅チーム医療における薬物療法の安全性確保～在宅医師から薬剤師に期待する事～
渡辺 康介(医療法人社団都会 渡辺西賀茂診療所)
- S3-2 在宅チーム医療における薬物療法の安全性確保
小川 由美子(訪問看護ステーションオリーブ)
- S3-3 在宅医療現場で薬剤師の取り組み～緩和医療を中心に～
小林 篤史(ゆう薬局グループ/岐阜薬科大学実践社会薬学研究室)
- S3-4 在宅医療を担う人材養成～薬学部での取り組み(学生教育、生涯教育)～
杉山 正(岐阜薬科大学実践社会薬学研究室)
- S3-5 在宅チーム医療を担う人材育成～医学部での先進的な取り組み～
山脇 正永(京都府立医科大学総合医療・医学教育学)

シンポジウム4 13:50~15:50 E会場(岐阜都ホテル 2階・漣の間B)

腎機能低下患者の医薬品安全性を確保するために薬剤師がなすべきこと

オーガナイザー: 平田 純生(熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター・臨床薬理学分野)

オーガナイザー兼座長: 和泉 智(白鷺病院医療技術部)
門脇 大介(熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター・臨床薬理学分野)

- S4-1 腎機能低下とともに変化する薬物動態
小林 道也(北海道医療大学薬学部)
- S4-2 腎機能の正しい把握～ピットフォールを回避して安全性を確保する～
柴田 啓智(済生会熊本病院薬剤部)
- S4-3 腎機能を見誤ったために想定される事故・事例
平田 純生(熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター・臨床薬理学分野)
- S4-4 末期腎不全患者のハイリスク薬管理
吉田 拓弥(特定医療法人仁真会 白鷺病院薬剤科)
- S4-5 薬局薬剤師が腎機能低下患者の医薬品安全性確保のためにできること・なすべきこと
近藤 悠希(熊本大学大学院生命科学研究部(薬学系)・薬学部薬剤情報分析学分野)

スポンサードシンポジウム1 10:25~12:25 E会場(岐阜都ホテル 2階・漣の間B)

がん薬物療法の安全性と連携の強化

オーガナイザー兼座長:橋田 亨(神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部)

寺田 智祐(滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部)

- SS1-1 岐阜大学医学部附属病院におけるがん化学療法に対する制吐療法への薬剤師の取り組みとその成果
飯原 大稔(岐阜大学医学部附属病院薬剤部)
- SS1-2 がん化学療法に伴うHBV再活性化対策
黒田 純子(名古屋市立大学病院薬剤部)
- SS1-3 がん患者を対象とした薬剤師外来
平畠 正樹(神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部)
- SS1-4 外来がん化学療法における新たな連携のカタチ~医看薬薬連携を活用して~
橋本 直弥(愛知県がんセンター中央病院薬剤部)
- SS1-5 地域の薬剤師のスキルアップと連携強化のための活動
須藤 正朝(滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部)

共催:小野薬品工業株式会社

スポンサー・シンポジウム2

15:00~17:00 A会場(長良川国際会議場 1階・メインホール)

医薬品の適正使用に向けた市販後安全管理ー治療上必要な適応外薬の取り扱い ー安全な薬物治療に向けた薬剤師の役割ー

オーガナイザー兼座長: 松浦 克彦(愛知医科大学附属病院薬剤部)

塚田 敬義(岐阜大学大学院医学系研究科医学系倫理・社会医学分野)

基調講演 適応外・未承認使用をいかにマネジメントするか

塚田 敬義(岐阜大学大学院医学系研究科医学系倫理・社会医学分野)

SS2-1 未承認薬および適応外使用薬の安全使用に向けた薬剤師の役割

ー愛知医科大学病院における取り組みー

松浦 克彦(愛知医科大学病院薬剤部)

SS2-2 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議と人道的見地から実施される治験に係る取り組みについて

清原 宏真(厚生労働省医薬・生活衛生局審査管理課)

SS2-3 治療上必要な適応外使用に係る情報提供についてー日本製薬工業協会の立場よりー

花輪 正明(日本製薬工業協会医薬品評価委員会)

SS2-4 製薬企業における市販後安全対策の取り組みについて

吉田 誠(塩野義製薬株式会社信頼性保証本部安全管理部)

共催: 塩野義製薬株式会社

第1日目 7月23日 (土)

ワークショップ1 9:20~12:20 C会場 (長良川国際会議場 4階・大会議室C)

WS1 重篤副作用早期回避のためのシミュレーションPBL
～在宅・病棟のリアル症例で学ぶ～

オーガナイザー：小茂田 昌代 (東京理科大学薬学部医療安全学研究室)

ランチョンセミナー1 12:40~13:40 A会場 (長良川国際会議場 1階・メインホール)

LS1 Evidenceに基づいた不眠症治療の最適化

座長：山田 清文 (名古屋大学医学部附属病院薬剤部)

演者：岸 太郎 (藤田保健衛生大学精神神経科学講座)

共催：MSD株式会社

ランチョンセミナー2 12:40~13:40 B会場 (長良川国際会議場 4階・大会議室A+B)

LS2 患者背景を考慮した糖尿病治療～各種糖尿病治療薬の位置付けを理解する～

座長：安田 浩二 (岐阜大学医学部附属病院薬剤部)

演者：飯塚 勝美 (岐阜大学医学部附属病院生体支援センター)

共催：武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー3 12:40~13:40 D会場 (長良川国際会議場 5階・国際会議室)

LS3 インターフェロンフリー治療の時代を迎えて～C型肝炎治療に与えるインパクト～

座長：田中 亮裕 (愛媛大学医学部附属病院薬剤部)

演者：杉原 潤一 (岐阜県総合医療センター)

共催：アッヴィ合同会社

ランチョンセミナー4 12:40~13:40 E会場 (岐阜都ホテル 2階・漣の間B)

LS4 大腸癌に対する化学療法～特にチーム医療で行う副作用マネジメントについて～

座長：山脇 正永 (京都府立医科大学総合医療・医学教育学)

演者：高橋 孝夫 (岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍外科学)

共催：大鵬薬品工業株式会社

スポンサー教育講演2 11:30~12:30 A会場(長良川国際会議場 1階・メインホール)

SE2 スタチンによる肝障害・筋障害の基礎から臨床

座長:伊藤 善規(岐阜大学医学部附属病院薬剤部)

演者:大石 了三(九州大学名誉教授)

共催:興和創薬株式会社

シンポジウム5 9:20~11:20 A会場(長良川国際会議場 1階・メインホール)

**緩和ケア領域における薬剤師のアプローチと将来展望
~院内・院外での医薬品の適正使用に向けた取り組み~**

オーガナイザー兼座長:千堂 年昭(岡山大学病院薬剤部)

石原 正志(岐阜大学医学部附属病院薬剤部)

S5-1 ハイブリッド緩和ケアに向けた薬剤師の取り組み

二村 昭彦(藤田保健衛生大学七栗記念病院医療技術部/薬剤課)

S5-2 外来でオピオイドを導入する~安全で効果的な疼痛管理へのサポート~

鍛冶園 誠(岡山大学病院薬剤部)

S5-3 医薬品の適正使用に向けたロジカル・トータルサポート

高瀬 久光(日本医科大学多摩永山病院薬剤部)

S5-4 オピオイドの副作用対策として薬剤師ができること

石原 正志(岐阜大学医学部附属病院薬剤部)

第2日目 7月24日(日)

シンポジウム6 9:20~11:20 B会場(長良川国際会議場 4階・大会議室A+B)

高齢者のポリファーマシー対策を考える

オーガナイザー兼座長: 室井 延之(赤穂市民病院薬剤部)

前田 頼伸(中国労災病院薬剤部)

基調講演 高齢者のポリファーマシー対策を考える

平井 みどり(神戸大学医学部附属病院薬剤部)

S6-1 薬薬連携による残薬調整の医療費削減効果

森朝 紀文(地方独立行政法人 りんくう総合医療センター薬剤科)

S6-2 在宅療養中の処方薬削減への薬局薬剤師による介入の実践

榊原 幹夫(名城大学薬学部病院薬学研究室/公益財団法人杉浦記念財団)

S6-3 高齢患者のポリファーマシー対策~地域連携における薬剤師の役割~

吉岡 睦展(宝塚市立病院薬剤部)

ワークショップ2 9:20~12:20 C会場(長良川国際会議場 4階・大会議室C)

WS2 医薬品有害反応を未然に防ぐために腎機能をどうとらえるか?

~Small group discussionによる症例検討会~

オーガナイザー: 平田 純生(熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター・臨床薬理学分野)
